

令和6年度第1回府中市地域公共交通活性化協議会 議事録

1 開催日時

令和6年6月6日（木） 午後2時00分～午後3時25分

2 開催場所

府中市役所4階 第一委員会室

3 出席者

（委員）

平野 勝与	大久保 富秋	掛江 賢治	山口 晃弘	宇田 雅英
高山 俊宏	高橋 正則	井上 邦康	松岡 康士	薦 真
高田 健司	秋本 隆彦	徳毛 靖弘	木曾 孝彦	渡邊 一成

（事務局）

大崎 聡	信岡 知典	小池 由範	西宮 瑠美
------	-------	-------	-------

4 欠席委員

桐島 一義

5 議事

- 第1号議案 令和5年度活動報告
- 第2号議案 令和5年度決算報告
- 第3号議案 令和6年度活動計画（案）
- 第4号議案 令和6年度予算（案）
- 第5号議案 地域内フィーダー系統確保維持計画（令和7～9年度）（案）
- 第6号議案 令和6年度生活交通改善事業計画（案）

6 報告事項

府中市における市内路線バスの運行状況について

7 配布書類

- 資料1 府中市地域公共交通活性化協議会委員名簿／配席図
- 資料2 令和6年度第1回府中市地域公共交通活性化協議会－議案
- 資料3 令和6年度第1回府中市地域公共交通活性化協議会－資料
- 資料4 地域内フィーダー系統確保維持計画（案）
- 資料5 生活交通改善事業計画（案）
- 資料6 府中市における市内路線バスの運行状況について

8 傍聴者

13人

9 議事の内容

○開会

○配布資料の確認

○委員紹介

○会長の選任

○議事

【会長】

さて公共交通を取り巻く状況につきましては、引き続き厳しい状況ということは皆さんご存じのところでございます。

その中にありまして、ご存じの通り芸備線では再構築協議会が発足し、先週の金曜日に広島と安芸高田と三次のエリアで、まちづくりを中心に公共交通を考え直して芸備線をどうするか議論する会議が任意の協議会としてスタートしました。

また今朝の朝刊には、岡山市で公設民営のバスの行い方を議論しようとか、すでに広島の方でも公設民営のバスあり方について議論されてきているというのは皆さんご承知のことだと思います。

こうした状況を考えてみますと、これまでは利用促進という形で頑張っていたのですが、それでは限界なのかなというところが見えてきている一方で、赤字の状況、あまり芳しくない状況のなかで引き続き維持するというのが難しくなっているのが状況としてできております。

これにつきましては、国で今どうあるべきかということをいろいろ検討されているところかと思いますが、自治体においても先んじて議論を始めないと、厳しい状況に至るのではないかという危惧を個人的には持っております。

具体的に言うと、例えば福塩線の北線については収支厳しい状況であります。

これまでもワイン列車など利用促進していますが、そういった意味では福塩線は福山から塩町まで繋がっていますので、沿線いわゆる福山、府中そして三次のあたりで福塩線をどう活用していくのかというのを考えていく必要があって、個人的にはこれは、例えば上下高校の存続問題やいろんなところ、まちづくりにも繋がってくると思いますので、そういった観点でもですね、この協議会で時間が許す限り議論をしていければなというふうに思っている次第でございます。

よろしくお願いいたします。

本日は年度初めの第1回目ということでございますので、お手元の議題にありますように昨年度の活動報告そして予算報告、また今年度の活動計画そして予算、或いは様々な計画についてご審議をいただくということでございます。

忌憚のないご意見をどんどんいただければと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

それでは議事に入ります前に、まず副会長と監査について決めておきたいと思っております。

副会長につきましては、引き続き株式会社中国バスから宇田委員にお願いしてはどうかと思っております。

また、監査委員につきましても引き続き桐島委員、山崎委員をお願いしてはと思いますが、いかがでしょうか。

皆様よろしいでしょうか。

ご異議ございませんので、副会長に宇田委員、監査には桐島委員に山崎委員をお願いしたいと思います。

よろしくお願いいたします。

それでは早速、議事のほうに入りたいと思います。

お手元の次第の4番議事になります。

議事につきましては協議会規約の第8条第3項の規定によりまして、会議の議決方法は、出席議員の過半数で決し、可否同数のときは、会長の決するところによるとなっておりますので、あらかじめご承知いただければと思います。

それでは初めに、第1号議案 令和5年度活動報告、そして第2号議案 令和5年度決算報告について、関連する案件ですので、一括して事務局から説明をいただき、そのあとご質問ご意見を伺いたいと思います。

それでは事務局から説明をお願いします。

【事務局】

○「第1号議案 令和5年度活動報告」及び「第2号議案 令和5年度決算報告」の説明。

【会長】

はい。ありがとうございました。

それではただいまの事務局からの説明に対しまして、ご意見、ご質問がございましたらお受けしたいと思います。

皆さんの方から何かございますか。

昨年度は、事務局から報告ありましたようにお手元の地域公共交通計画を策定することができまして、いろいろご意見をいただきありがとうございました。

その中に、今年度以降のですね、取り組みについて記載をされているところでありまして、引き続き取り組んでいきたいと思います。

ワンコインバスですとか、いろいろな割引制度の取り組みを行っていきまして、コロナ禍からは脱却しているけども、従前まではまだ戻ってないのかなというところがあります。

乗車の気運としてはプラスの方向で動いているみたいですので、この調子でプラスの方に触れてってくれるといいかなというふうに見させていただきました。

皆さんの方から何かございますか。

【委員】

乗り方教室の募集の開始をされたということですが、これは学校に向けての乗り方教室ということなのか1点と、申し込みされた学校があったのかという点をお聞きしたいと思います。

【事務局】

基本的には全年齢と言いますか、児童の方から高齢者等を含んでおります。

狙いとしては、免許返納された後など、これまで公共交通に触れられてなかった方々というのは、なかなか乗り方がわからないということなので、第一歩として教室のほうをさせていただいて、学んでいただいた後に利用していただきたいというところであります。

昨年度募集のほうをさせていただいたのですが、実際のところまだ申し込みのほうが上がってきていない状況でございます。

今年度は別の形にはなってしまうのですが、ある町から勉強会ということで公共交通について学びたいという声をいただいておりますので、乗り方教室を紹介しながら取り組んでいきたいというところです。

【委員】

運輸局としましても他の自治体と一緒に小学校向けの乗り方教室などを取組んでおりますので、そういったお話があれば情報提供していただければと思います。

【会長】

ありがとうございました。

府中市では電気バスを導入しておりますので、みんなで電気バスに乗ろうと呼び掛けて乗り方教室とセットで活用してみてもどうかと思いました。

他にはございますか。

【委員】

昨年はEVバスを導入に関して様々なご尽力をいただきまして無事導入することができ、4月8日から運行させていただいております。

初日はマニアの方を含めて非常に多くの方に乗っていただきましたが、2日目以降はですね普通に戻っている状態であります。

それでもやはり珍しい車両ということで、乗っていただいて、静かで環境やさしいというところを含めてですね、非常に取り組みとしてよかったのかなと思っております。

まだ乗ってもらえない方もいましたら、是非乗っていただきまして体験していただければと思っています。

【会長】

ありがとうございました。

他はいかがでしょうか、よろしいでしょうか。

それでは、特に意見がございませんようでしたら、第1号議案、第2号議案の採決を挙手によって行いたいと思います。

よろしくお願いいたします。

第1号議案令和5年度活動報告、そして第2号議案令和5年度の決算報告について一括して採決を行いたいと思います。

ご承認いただける方は挙手をお願いいたします。

【委員】

(挙手多数)

【会長】

ありがとうございます。

挙手多数と認めます。

よって第1号議案、第2号議案については、賛成多数により可決されました。

どうもありがとうございました。

続きまして第3号議案 令和6年度の活動計画案そして第2号議案 令和6年度の予算案について、こちらも関連している案件ですので、一括して事務局から説明をいただき、そのあとご意見ご質問を伺いたいと思います。

まずは事務局から説明をお願いします。

【事務局】

○「第3号議案 令和6年度活動計画（案）」及び「第4号議案 令和6年度予算（案）」の説明。

【会長】

はい。ありがとうございました。

ただいまご説明いただきました、令和6年度の活動計画案として、令和6年度の予算案につきまして、ご質問とかご意見あったらお受けしたいと思います。

いかがでしょうか。

【委員】

久佐町に対する車両の乗入れについてですけれども、協和地区の中でお店が今1件しかありません。それで久佐町に行きますと2店舗あり、駅もあります。

そうすると福塩線の乗られる人もいると思われるのですが、それで効果的に運用するのがいいと思います。

免許返納された方もおられますし、毎月の乗車人数20人程度なので、ちょっと範囲を広げてそういう利便性があるところに行動できれば、皆さんのためになると思います。

それと将来的には、久佐町人たちにもタクシー利用をしてもらうようになっていければ、今の中国バス、福塩線の便数があまりないなかで、そこをタクシーで久佐から落合の停留所まで送迎すれば、そこからバスで上下や府中まで行かれる方もおられるでしょうし、そういうような利便性は高まると考えています。

【会長】

はい。ありがとうございます。

地域の中でのそういった交通結節点をしっかり作って、鉄道駅或いはバスによってまた他の地域出かけられるようになると、多分利用者の方も増えるのではないかと思いますので、この辺は引き続き調整をしていけばと思います。

どうも、ありがとうございました。
他にはございますでしょうか。

【委員】

先ほどの令和5年度事業も含めて、発言させていただければと思います。

本当にJR福塩線の利用促進のために様々な取り組みをしていただいているということで、この場をお借りして感謝申し上げたいと思います。

例えばこの絵本ですが、やっぱり公共交通機関として、将来に公共交通を使ってもらう土壌を作っていくのは非常に大切なことだと思います。

短期的にこれがすぐに利用促進に繋がわけではなくて、やっぱり子供たちに公共交通に親しんでもらうみたいなモビリティマネジメントの観点でしていただいていると思っています。

そういう観点ではしっかりこういったところを地域の人に知ってもらってというのは大事だと思いますし、今日も塗り絵とシールをたくさん持ってきたので、ぜひこれを園児の方に活用していただきたいなと思っていますところでございます。

あとはサイクルトレインとか本当いろいろ取り組みしていただいています。

ただ、いろんな線区で利用促進の取り組みを行政の方々と一緒に取り組んでいますけど、やはり行政の方のマンパワーみたいなところで負担がかかっています。

サイクルトレインでも本当に行政の人が自転車のそばについて自転車が落ちないように見て、コースの曲がり角にも全部人員を配置してされるなど、本当に頭の下がる思いでございます。

先ほど渡辺先生もおっしゃられましたが、これ続けるっていうのは人口減少で人手不足のなか難しいのかなと考えています。

やっぱりこの取り組みを通じて、利用促進をしなくても、この地域に人が来ていただける情報発信がすごく大切なんじゃないかなと思っていますところでございます。

そういう意味でいうと、地域交通法の中の基本方針に、交通はまちづくりの手段であるって書いてあって、本当にまちづくりでどうやって公共交通が役割を発揮できるかだと思っています。

そういう意味でいうと、令和6年度の活動計画で記載していただいていますけども、拠点となる鉄道駅バス停における利用環境の改善、移動と目的地のある施設と公共交通の連携は、大切な取り組みになってくるとしています。

先ほど井上様がおっしゃっていただいた、駅と繋げていただくといった取り組みは、本当にすぐ素早くやって、ちゃんと効果は見ていく必要があると思います。

いい事例でいうと弊社管内でいうと、姫新線っていう線があります。

姫路の方ですけど、そういったところは本当にパークアンドライドみたいなところをしっかりと駅の前に行政の方に作っていただいて、駅まで車で来ていただいて列車を使いやすい環境整備みたいなところで、右肩上がりでご利用者が伸びています。

そういったところもぜひ参考にさせていただいて、しっかり事例研究もしながら、府中市が福山市などと連携して取り組んでいく必要があるかなと思っています。

さらには、福塩線は使いづらいダイヤだと思いますけども、この計画にはバスを増便してくれっていうことではなくて、並行しているバスと有効活用をしようという方針を出していただいているのは先進的だと思っていますところでございます。

そういった観点でもバスだけではなくタクシー事業者の方々とも連携して、ネットワークをつく

っていくような取り組みをしっかりと実現していきたいといった思いを新たにした次第でございます。
以上でございます。

【会長】

はい。ありがとうございました。

私も広域幹線と地域間幹線の維持・確保・改善というところで、鉄道と路線バスの運行時間は双方に補完し合いつつ、と書いたのは府中から上下の話だと思えますけれども、これすごくいい取り組みなのでやっていただきたいのですが、その時に加えてちょっと考えて欲しいのは、例えば福山駅でこの電車に乗るとうまく上下に行けますというに、調整した結果をどう使うのかっていうことを是非ともPRしていただきたいと思います。

その時にはおそらく、上下の天領まちづくりで頑張っておられる方も協力してくれるはずなので、そういった意味では、福山からでもこの電車とバスについて天領に行きますとか、或いは銀の道を鉄道とバスで巡るだとか何かそういった展開も多分できると思います。

いろいろと調整しながら、そういった展開をみんなに使ってもらって、使ってみたら結構いいと感じてくれると普段から使ってもらえるので、そういう利用促進策に繋いでいけるといいかなっていうふうに思っております。

福塩線対策協議会との調整がまた難しいでしょうが、是非とも何かそういう新しいことをやる時に、均等なダイヤになることによってバスと鉄道がうまくこう交わることによって、福山からでも上下に簡単に行けますなどのアピールができると、上下もすごく脚光浴びて、もともとすごく歴史的ないい町なので、何か観光も含めていろんな方に来ていただけるとと思います。

もちろん交通の話ですけども、少し観光だとかまちづくりのことも含めて、こうした交通の取り組みをどう生かしていくのかっていうのを、ちょっといろいろと皆で考えてくれるといいかなというふうに思った次第でございます。

どうもありがとうございました。

他にはございますか。

【委員】

公共交通を運行していくうえで 2024 年の新改訂改善基準問題というドライバーが不足という状況が続いております。

都心でも、今ドライバーが足りなくて夏休みを変更するとか、土日がゼロになるとかこういった状況というのが続いている中で、今後やっぱりやっていけないといけないのは、他の公共交通もうまく使い、すべてを繋いで空白地を作らないようにする路線といったものが必要になっていると思います。

情報発信をうまくやりながら、どうやったらお客様の使いやすい路線になるかをお互いに限られた時間ではなく、補完し合えるダイヤを今後作っていく必要があります。

私どもも GTFS の情報はできているのですが、なかなか浸透してきてない、広報がなかなかできてないところもございます。

こういったところは使える状況を作っていくって、よりよい府中のまちづくり、さらに府中に人が集まるようなまちづくりを皆さんと続いていこうと思いますので、よろしくお願いします。

【会長】

はい。ありがとうございました。

GTFS については広島県の方もかなり積極的に取り組むということですので、またその辺もいろいろと教えていただきながら進めていければと思います。

どうもありがとうございます。

他にはございますでしょうか。

よろしいですかね。

それでは、こちらも先ほどの 1 号議案 2 号議案同様に挙手による採決を行いたいと思います。

第 3 号議案 令和 6 年度活動計画（案）、そして第 4 号議案 令和 6 年度予算（案）について一括して採決を行いたいと思います。

ご承認いただける方は挙手をお願いいたします。

【委員】

（挙手多数）

【会長】

ありがとうございます。

挙手多数を認めます。

賛成多数により可決されましたありがとうございました。

それでは第 3 号議案の活動計画（案）の（案）という字、そして第 4 号議案の予算（案）の（案）という字を消していただければと思います。

こちらの活動、予算で今年度進めていきたいと思います。

よろしくをお願いいたします。

それでは続きまして、第 5 号議案に移りたいと思います。

第 5 号議案は、地域内フィーダー系統確保維持計画（令和 7～9 年度）（案）についてです。

まずは事務局から説明をお願いします。

【事務局】

○「第 5 号議案 地域内フィーダー系統確保維持計画（令和 7～9 年度）（案）」の説明。

【会長】

ありがとうございました。

ただいま事務局から第 5 号議案について説明をいただきました。

ご質問ご意見があったらお受けしたいと思います。

いかがでしょうか。

私の方から考えてみてほしいことですが、目標設定で例えば右回りですと現状 14,527 人、令和 7 年に 16,000 人、令和 8 年 16,500 人、令和 9 年 17,000 人ということで、500 人ずつ伸ばしていくよ

うになっていますが、これどうやって伸ばそうとしているかが多分問題かなと思っています。

1 個ありそうなのは、府中駅降りてバスどこにあるかがわからないということです。

例えば道の駅ですとバスロケみたいなやつがあって、次のバスが何時にどこへ行きますってありますけども、府中駅も何か降りたら目の前のバス停からどこ行きのこういったルートของバスが何分にありますといったものがあるとひょっとしたら乗る人がいる気がしています。

なんかそういう意味では、まだできそうなところは結構あるような気がするのでそうすると毎年 500 人ずつ増やしますっていうのができると思います。

あとは栗原線でやっている乗り継ぎ割引を、例えばぐるっとバスに全面的に導入して、どの路線から来て乗っても対象にするとぐるっとバスに乗ってくれるのかなと思います。

お金的にどうなのかっていうのと中国バスにも相談しなきゃいけないと思いますけども、結構いけそうな気がするので、その辺はもちろん事務局でも考えていただければと思いますし、皆さんの方からご意見があれば、私も考えていければなというふうに思った次第でございます。

他にはございますか。

よろしいですかね。

それでは第 5 号議案の地域内フィーダー系統確保維持計画（令和 7 年から 9 年度）（案）につきましても先ほどと同様、挙手により採決を行いたいと思います。

第 5 号議案、地域内フィーダー系統確保維持計画（令和 7 年から 9 年度）（案）について、ご承認いただける方は挙手をお願いいたします。

【委員】

（挙手多数）

【会長】

ありがとうございます。

挙手多数と認めます。

これにより、第 5 号議案は可決されました。

どうもありがとうございました。

それでは第 5 号議案の最後に（案）がついておりますが、この（案）をとっていただければと思います。

ありがとうございました。

それでは続きまして、第 6 号議案に移りたいと思います。

第 6 号議案、令和 6 年度生活交通改善事業計画（案）について、また事務局から説明をお願いいたします。

【事務局】

○「第 6 号議案 令和 6 年度生活交通改善事業計画（案）」の説明。

【会長】

ありがとうございました。

ただいま説明ありました第 6 号議案バリアフリー化設備等整備事業ということで具体的にはUD タクシーの導入ということでございます。

ご質問ご意見があったらお受けしたいと思います。

いかがでしょうか。

【委員】

購入に関しましては補助をいただきまして、ありがとうございました。

表にある通り事業者の負担割合は 70 パーセントと非常に高くなっておりまして、この要因としては車両価格がかなり上がっておるところが現状でありまして、県の補助金については以前から変わらずなんです、府中市も以前と変わらない補助率となっています。

UD タクシーを整えてまちづくりに貢献する意味も含めまして、できるだけ導入はしたいというふうに考えておりますが、どうしても予算については非常に厳しいところであります。

次年度以降、可能であれば予算割合を少し高めにとっていただければ、事業者としては非常にありがたいと思っております。

今回導入する予定の車も 5 月に価格改定があって、1 割ほど高くなっております。

そういった辺りも含んだうえで、予算等についてもお願いできればと思いますので、宜しくお願い致します。

【会長】

ありがとうございました。

世の中いろいろと物価が上がっていますが、車両も当然上がっているということですので、できるだけ補助率を上げていただければいいかなと思いますが、それはまた引き続きご検討いただければと思います。

ありがとうございます。

他にはございますか。

よろしいでしょうか。

それでは、無いようですので続けて挙手により、採決をさせていただきます。

第 6 号議案 令和 6 年度生活交通改善事業計画（案）について、ご承認いただける方は挙手をお願いいたします。

【委員】

（挙手多数）

【会長】

ありがとうございます。

挙手多数と認めます。

よって本議案は可決されました。

それでは第6号議案 令和6年度生活交通改善事業計画（案）の（案）を取っていただければと思います。

よろしくお願いいたします。

以上をもちまして、本日の議事につきましては滞りなく終了いたしました。

ありがとうございました。

私の方はこちらまでの担当になっております。

残りの1号につきましては、事務局の方に進めていただければと思いますので、司会を事務局にお願いしたいと思います。

よろしくお願いいたします。

【事務局】

ありがとうございました。

続きまして、開催次第5、報告事項の方に移らさせていただきます。

事務局よりご報告の方をさせていただきます。

【事務局】

○報告事項「府中市における市内路線バスの運行状況について」の説明。

【事務局】

只今の報告事項につきまして、何かご質問等はございますか。

よろしいでしょうか。

【会長】

これ南宮線の収益率が赤字ではあるけど結構高いのは、高校生が載っている路線だからという理解でいいのでしょうか。

【事務局】

おっしゃる通り、東高校の生徒さんが大半を占められているというところです。

【会長】

ありがとうございました。

【事務局】

それでは、本日の協議会を通して皆様から何かございましたら、お願いします。

【委員】

電気バスを導入していただき、乗務員一同大変感謝しております。

電気バスの情報ですが、毎日充電して朝100%になっていますと大体1日使うと65%ぐらいになります。

今は暑いのでエアコンを使いますから大体1日13周して約60%消費します。

200 キロ以上電気バスは走る計算ですので、比較的エネルギーには余裕があります。

乗務員の評判はとてもいいです。

何と言ってもノンステップバスなので、車椅子が乗るようになっていますが、知っておられない方がたくさんいると思います。

例えば、府中福山線は全車両、車椅子が乗るようになっています。

2、3 人は毎日車椅子で乗られる方がおられます。

昔はノンステップバスが来ますかと電話されていた方いらっしゃいましたけども、今そういうことがほとんどないです。

ですから、循環バスももっと車椅子とかベビーカーかとか乗れるようにしていると宣伝をしないといけないと思っています。

そうしたら、これから障害を持つ方の利用も増えると思いますので、乗れるということがわかれば利用されるお客様も増えると思います。

それとあと、乗務員同士の話ですが、ちょっと所要時間について見直さないといけないところが、少々あります。

ここでは詳しいことは言いませんが、ちょっとぐるっと左バスとか南部栗柄線が、時間をちょっと取りすぎているため、2、3ヶ所で2、3分時間調整をしている箇所がございます。

それを時間調整しなくてもいいように時間調整をしてほしいという要望です。

これだから定刻に発車して、各バス停に2、3分遅れるぐらいの時間でいいと思っています。

だいたい、府中の方は定刻の時間が必ず10分前出てこられます。

府中福山線では、やっぱり福山の町の方ですので、ぎりぎりで来られる方おられます。

だから上下にしても、市内の循環バスにしても、便数が少ないので、何とか早く出てきて、おられます。

ですから、定刻または2、3分を超えるぐらいで処理時間を取るようになってもらえればと思います。以上です。

【事務局】

ありがとうございます。

車椅子であるとかベビーカーっていうところの利用促進では府中市の方からでも、十分発信していかなきゃいけないなというふうに思っていました。

また時間調整については、どちらかというところちょっと府中市の方でご要望としていただくのは、ぐるっとバスを近所にも来て欲しいというふうなお話も聞きますので、そのあたりはそのルートの見直しっていうところも含めて、利用状況とかをご相談させていただきながら、今後検討できればというふうに思いますので、引き続いてよろしくお願いします。

それでは他にはございませんでしょうか。

それでは、以上をもちまして令和6年度第1回府中市地域公共交通活性化協議会を閉会いたします。

本日は長時間にわたりまして誠にありがとうございました。

それではお気をつけてお帰りください。

○閉会

以上